

千歳市公営企業経営審議会資料

- ・令和6年度千歳市公営企業会計決算概要

令和7年10月29日
千歳市水道局

令和6年度
千歳市公営企業会計決算概要

令和7年10月29日
千歳市水道局

目 次

(令和6年度千歳市水道事業会計決算の概要)

1	決算概要	2
(1)	当年度予算との比較	2
(2)	前年度決算との比較	3
(3)	水道事業経営計画との比較	4
2	給水人口及び配水量	6
3	用途別給水戸数（使用戸数）及び有収水量	6
4	経営分析	6
(1)	経営の健全性・効率性	6
(2)	老朽化の状況	9

(令和6年度千歳市下水道事業会計決算の概要)

1	決算概要	12
(1)	当年度予算との比較	12
(2)	前年度決算との比較	13
(3)	下水道事業経営計画との比較	14
2	処理区域内人口及び処理水量	16
3	用途別排水戸数（使用戸数）及び有収水量	16
4	経営分析	16
(1)	経営の健全性・効率性	16
(2)	老朽化の状況	19
5	用語解説	20

消費税表記の取扱い

金額表示において、消費税及び地方消費税込みで表記しているものは、次の項目の金額であり、それ以外の項目では損益を正確に把握するため税抜きで表記している。

1	決算概要	(1) 当年度予算との比較	・水道 2 ページ ・下水道 1 2 ページ
		(2) 前年度決算との比較	・水道 【資本的収支】 3 ページ ・下水道 【資本的収支】 1 3 ページ
		(3) 経営計画との比較	・水道 【資本的収支】 5 ページ ・下水道 【資本的収支】 1 5 ページ

6

令和6年度千歳市水道事業会計決算状況

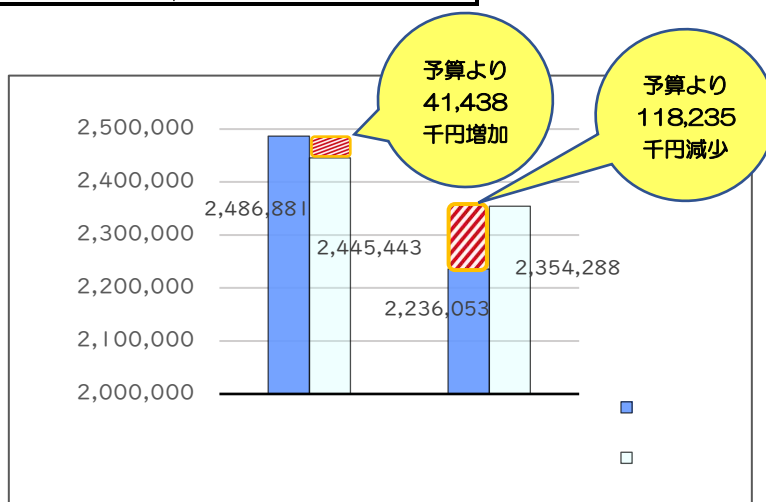
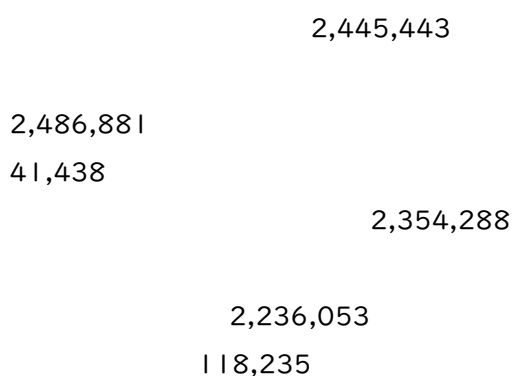
I 決算概要

(1) 当年度予算との比較

【収益的収支】

(税込 単位：千円)

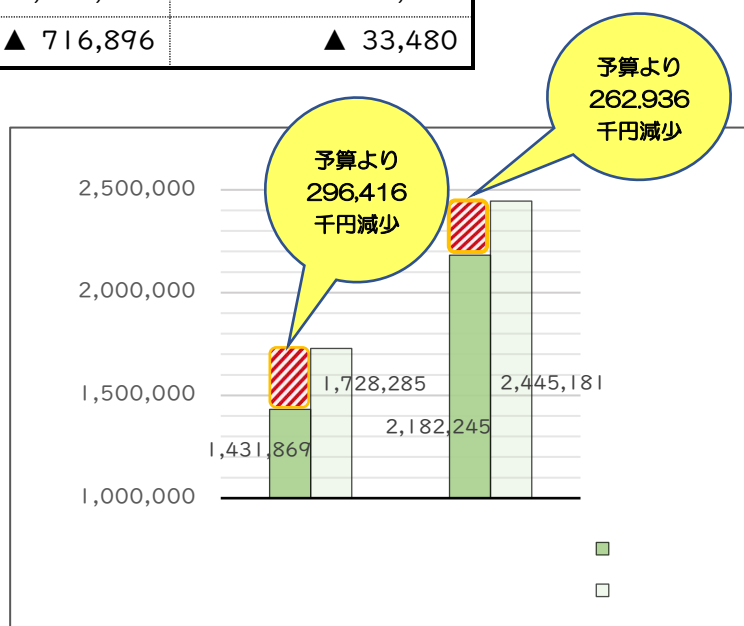
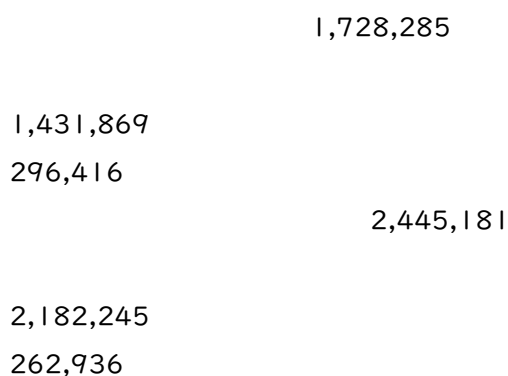
	令和6年度決算	令和6年度予算	予算額に対する増減
収益	2,486,881	2,445,443	41,438
費用	2,236,053	2,354,288	▲ 118,235
差引額	250,828	91,155	159,673



【資本的収支】

(税込 単位：千円)

	令和6年度決算	令和6年度予算	予算額に対する増減
収入	1,431,869	1,728,285	▲ 296,416
支出	2,182,245	2,445,181	▲ 262,936
差引額	▲ 750,376	▲ 716,896	▲ 33,480



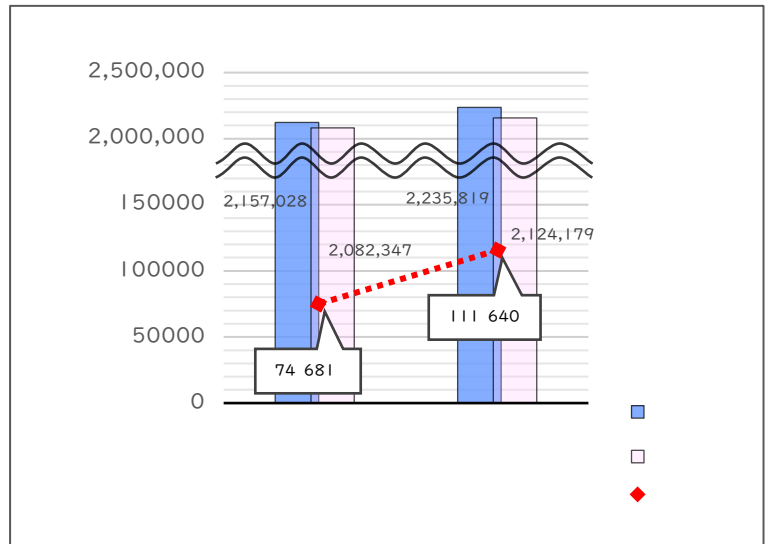
(2) 前年度決算との比較

【収益的収支】

(税抜 単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	増減額
収益	2,157,028	2,235,819	78,791
費用	2,082,347	2,124,179	41,832
純利益	74,681	111,640	36,959

111,640
36,959

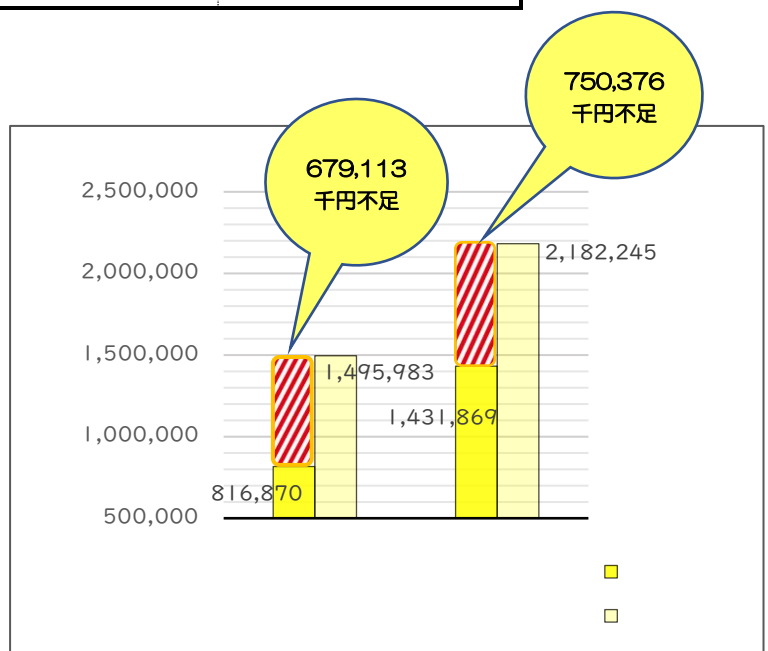


【資本的収支】

(税込 単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	増減額
収入	816,870	1,431,869	614,999
支出	1,495,983	2,182,245	686,262
差引不足額	679,113	750,376	71,263

679,113
750,376



(3) 水道事業経営計画との比較 (※水道事業経営計画…令和4年3月策定)

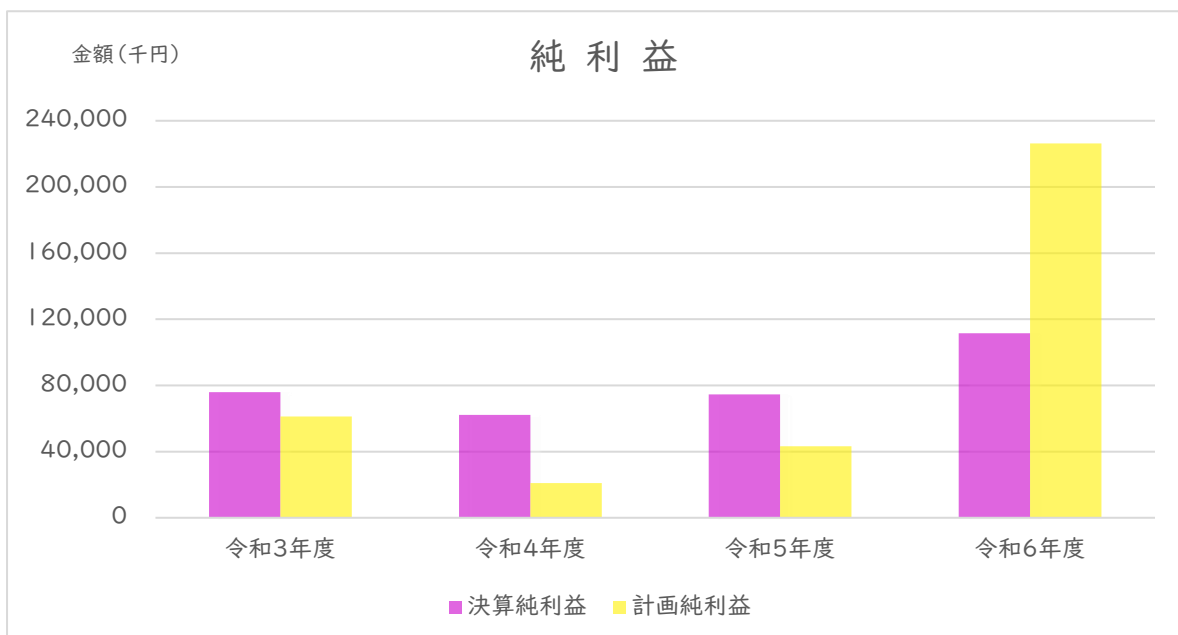
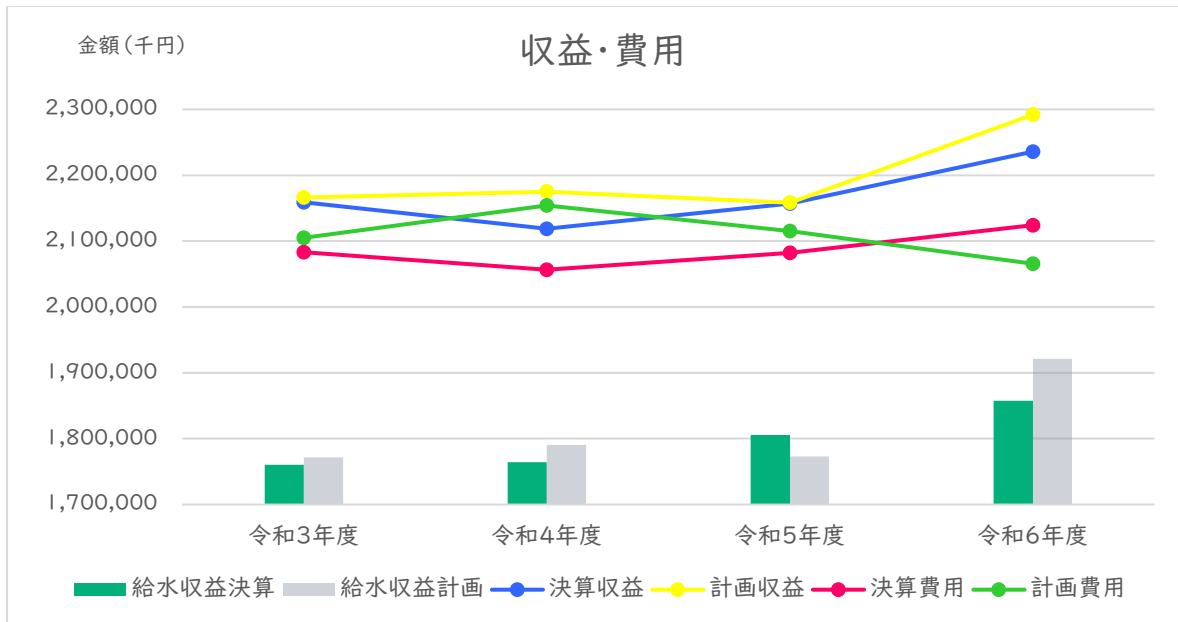
【収益的収支】

(税抜 単位：千円 上段 決算値 下段 計画値)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収益	2,158,825 (2,166,266)	2,118,766 (2,175,082)	2,157,028 (2,158,265)	2,235,819 (2,291,960)
費用	2,082,935 (2,105,105)	2,056,506 (2,154,112)	2,082,347 (2,115,072)	2,124,179 (2,065,617)
純利益	75,890 (61,161)	62,260 (20,970)	74,681 (43,193)	111,640 (226,343)

収益については、新型コロナウイルス感染症の拡大による市民生活や地域経済への影響に配慮して令和6年度に予定していた水道料金の引上げを見送ったことから、給水収益が減少した。

また、費用については、計画値に比べて5年度までは下回っていたものの、6年度は修繕費などが増えたことから上回った。

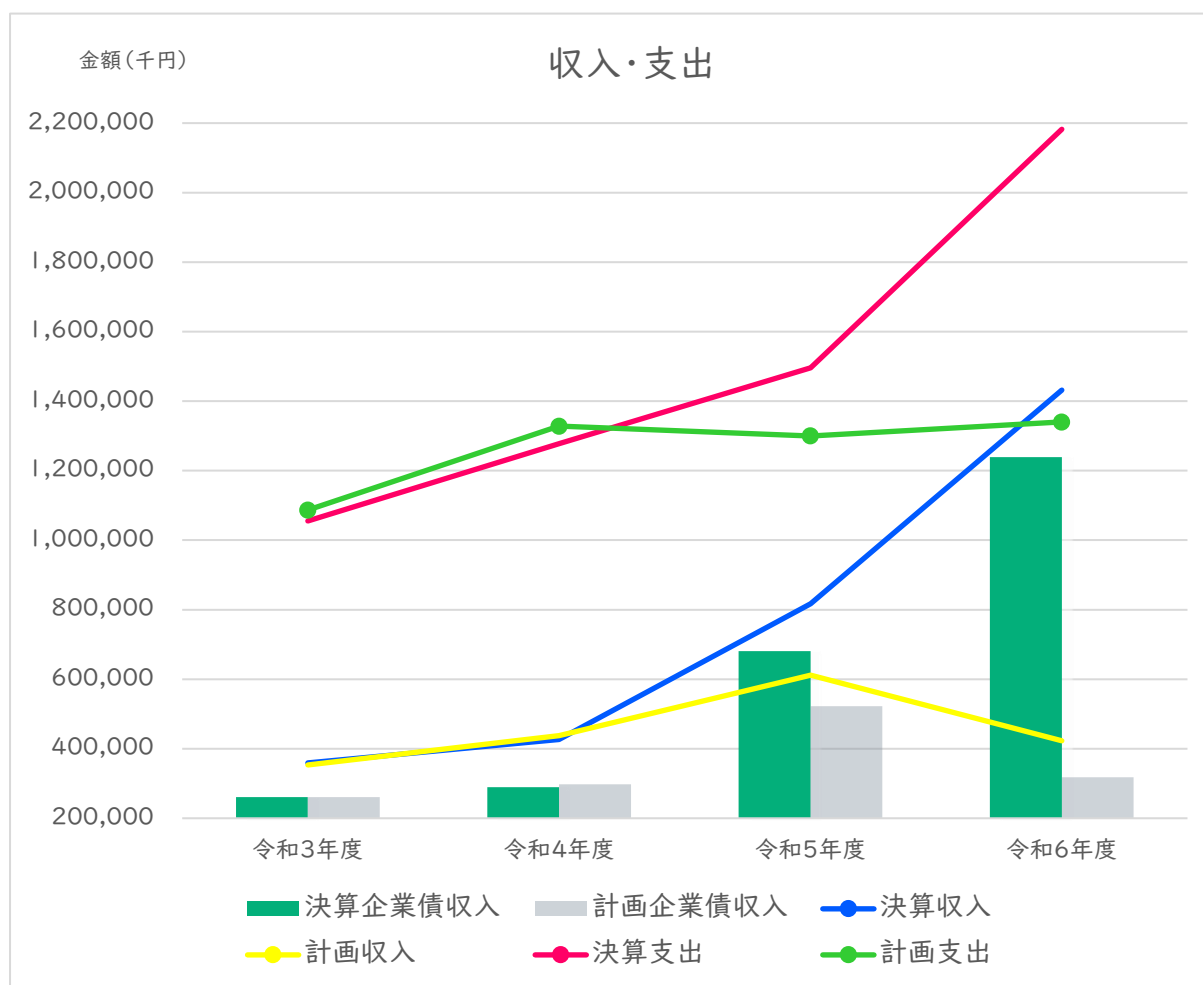


【資本的収支】

(税込 単位：千円 上段 決算値 下段 計画値)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	359,253 (353,373)	426,720 (438,118)	816,870 (611,683)	1,431,869 (423,040)
支出	1,055,317 (1,086,764)	1,277,719 (1,328,187)	1,495,983 (1,300,165)	2,182,245 (1,340,253)

5年度及び6年度において次世代半導体製造工場のパイロットラインに必要な水道管整備を実施したことから、収入で企業債が増加するとともに、支出で建設改良費が大きく増加した。



2 給水人口及び配水量

区分	令和6年度	令和5年度	増減
給水人口	96,460人	97,061人	▲601人
給水戸数	46,988戸	45,883戸	1,105戸
年間総配水量	12,472,345 m ³	12,221,759 m ³	250,586 m ³
うち石東企業団からの受水量	2,785,866 m ³	2,576,510 m ³	209,356 m ³
1日平均配水量	34,171 m ³	33,393 m ³	778 m ³
年間有収水量	12,213,037 m ³	11,890,325 m ³	322,712 m ³

※給水人口は、各年度末時点での数値を記載している。

3 用途別給水戸数(使用戸数)及び有収水量

区分	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	戸数 (戸)	有収水量 (m ³)	構成比率 (%)	戸数 (戸)	有収水量 (m ³)	構成比率 (%)	戸数 (戸)	有収水量 (m ³)	構成比率 (%)
家庭用	44,459	7,262,090	59.5	43,379	7,180,600	60.4	42,342	7,148,717	61.4
営業用	1,956	1,688,724	13.8	1,937	1,602,925	13.4	1,901	1,514,503	13.0
医療用	96	174,642	1.4	97	168,566	1.4	96	175,922	1.5
公用・公共用	293	1,084,234	8.9	287	1,078,898	9.1	287	1,067,331	9.1
工場用	170	1,883,271	15.4	168	1,794,179	15.1	171	1,721,401	14.8
浴場用	2	7,546	0.1	2	7,303	0.1	2	7,659	0.1
その他	12	112,530	0.9	13	57,854	0.5	6	3,434	0.1
合計	46,988	12,213,037	100.0	45,883	11,890,325	100.0	44,805	11,638,967	100.0

※戸数は各年度末、有収水量は各年度における合計の数値を記載している。

※構成比率は有収水量の比率を記載している。

4 経営分析

(1) 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	105.29	103.62	103.05	経常収益÷経常費用×100
類似団体平均値	—	109.05	109.09	

※類似団体とは、国が給水人口により細分化しグループに分け、その中で本市と同じグループに属する自治体を指す。

※令和6年度の類似団体平均値は、令和8年1月に公表が予定されている。

・指標の解説

経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものである。この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、これが100%未満であることは経常損失が生じていることを意味する。

・本市の状況

経常収益により経常費用が賄われている。

② 累積欠損金比率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	0.00	0.00	0.00	累積欠損金÷営業収益×100
類似団体平均値	—	1.02	0.93	

・指標の解説

事業体の経営状況が健全な状態にあるかどうかを、累積欠損金の有無により把握しようとするもので、営業収益に対する累積欠損金の割合である。0%であることが求められる。

・本市の状況

累積欠損金は発生していない。

③ 流動比率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	172.92	168.31	201.06	流動資産÷流動負債×100
類似団体平均値	—	344.88	357.74	

・指標の解説

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払い能力を表している。流動費率は100%以上であることが必要であり、100%を下回っていれば不良債務が発生していることになる。

・本市の状況

短期的な債務に対する支払能力は確保されている。

④ 有収率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	97.92	97.29	96.60	年間有収水量÷年間配水量×100
類似団体平均値	—	86.95	87.26	

・指標の解説

施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標で、100%に近いほど施設の稼働状況が収益に反映されているといえる。数値が低い場合は、水道施設や漏水等の原因を特定し、その対策を講じる必要がある。

・本市の状況

漏水やメーター不感等の不具合は毎年度生じており、不備を見つけた際にはその都度措置をしている。類似団体平均値と比較しても高い数値を維持しており、引き続き適切な維持管理を行っていく。

⑤ 給水原価

(単位:円)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	159.47	160.06	161.19	(経常費用－長期前受金戻入益)
類似団体平均値	—	174.52	173.68	÷年間有収水量

・指標の解説

有収水量1㎡当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標である。当該指標に明確な基準はないが、経年比較や他の自治体との比較により、適正值であるか判断する必要がある。

・本市の状況

類似団体平均値と比べて低い給水原価である。

⑥ 料金回収率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	95.39	94.86	94.04	供給単価÷給水原価×100
類似団体平均値	—	98.89	98.30	

・指標の解説

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標で、料金水準等を評価することが可能である。

・本市の状況

費用が毎年増加しており、給水原価が供給単価を上回っている。

(2)老朽化の状況

① 有形固定資産減価償却率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	54.67	55.79	54.43	有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産償却対象資産帳簿原価×100
類似団体平均値	—	51.79	50.99	

・指標の解説

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。当該指標に明確な基準はないが、経年比較や他の自治体との比較により、適正值であるか判断する必要がある。

・本市の状況

有形固定資産減価償却率は類似平均団体と比べて高く、施設は老朽化傾向にある。引き続き水道施設更新実施計画等に基づき、施設の更新を行っていく。

② 管路経年化率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	25.64	24.13	21.88	法定耐用年数を経過した管路延長 ÷管路延長×100
類似団体平均値	—	23.19	21.69	

・指標の解説

法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度合を示している。当該指標に明確な基準はないが、経年比較や他の自治体との比較により、適正值であるか判断する必要がある。

・本市の状況

法定耐用年数を超えた管路延長の割合が増加傾向にある。引き続き水道施設更新実施計画に基づき、管路の更新を行っていく。

③ 管路更新率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	0.11	0.26	0.25	当該年度に更新した管路延長 ÷管路延長×100
類似団体平均値	—	0.53	0.60	

・指標の解説

当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管理の更新ペースや状況を把握できる指標である。耐震性や更新見通しなどを踏まえ、数値を適切にすることが必要である。

・本市の状況

水道施設更新実施計画に基づき、経年化及び老朽化等を判断し、優先度の高い管路から更新を行っている。

令和 6 年度千歳市下水道事業会計決算の概要

令和6年度千歳市下水道事業会計決算状況

I 決算概要

(1) 当年度予算との比較

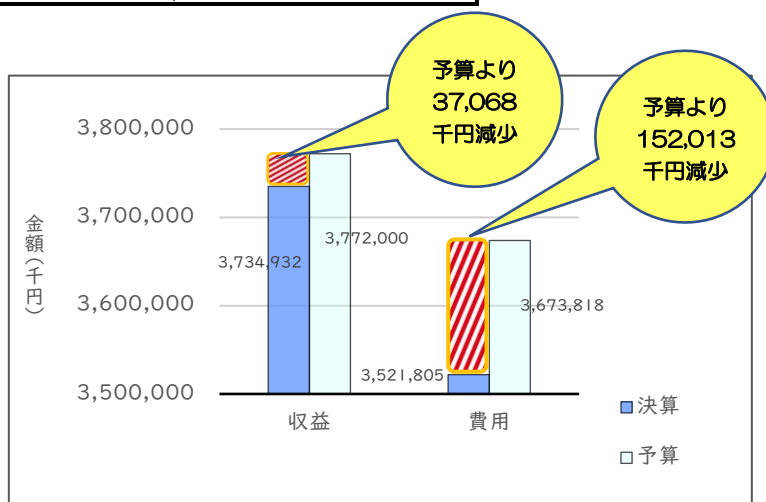
【収益的収支】

(税込 単位：千円)

	令和6年度決算	令和6年度予算	予算額に対する増減
収益	3,734,932	3,772,000	▲ 37,068
費用	3,521,805	3,673,818	▲ 152,013
差引額	213,127	98,182	114,945

収益においては、予算額 3,772,000 千円に対して、決算額は、下水道使用料などが減少したことにより 3,734,932 千円となり、予算額に対する増減は、37,068 千円の減となった。

また、費用においては、予算額 3,673,818 千円に対して、決算額は、委託料などの物件費が減少したことにより 3,521,805 千円となり、予算額に対する増減は、152,013 千円の減となった。



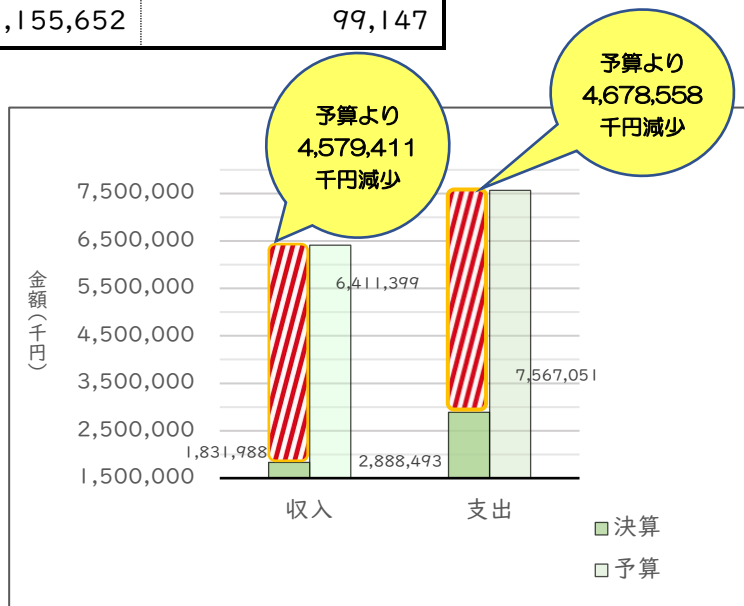
【資本的収支】

(税込 単位：千円)

	令和6年度決算	令和6年度予算	予算額に対する増減
収入	1,831,988	6,411,399	▲ 4,579,411
支出	2,888,493	7,567,051	▲ 4,678,558
差引額	▲ 1,056,505	▲ 1,155,652	99,147

収入においては、予算額 6,411,399 千円に対して、決算額は、企業債などが減少したことにより 1,831,988 千円となり、予算額に対する増減は、4,579,411 千円の減となった。

また、支出においては、予算額 7,567,051 千円に対して、決算額は、建設改良費が減少したことにより 2,888,493 千円となり、予算額に対する増減は、翌年度への繰越額 4,141,820 千円を含む 4,678,558 千円の減となった。



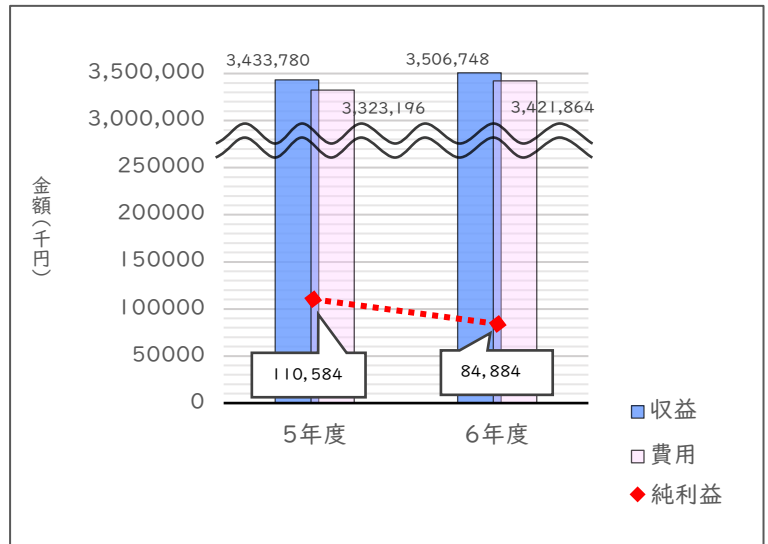
(2) 前年度決算との比較

【収益的収支】

(税抜 単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	増減額
収益	3,433,780	3,506,748	72,968
費用	3,323,196	3,421,864	98,668
純利益	110,584	84,884	▲ 25,700

令和6年度決算では、前年度決算と比較して、下水道使用料などの収益が増加したものの、委託料などの物件費が増加したことにより25,700千円減の84,884千円の純利益を計上した。



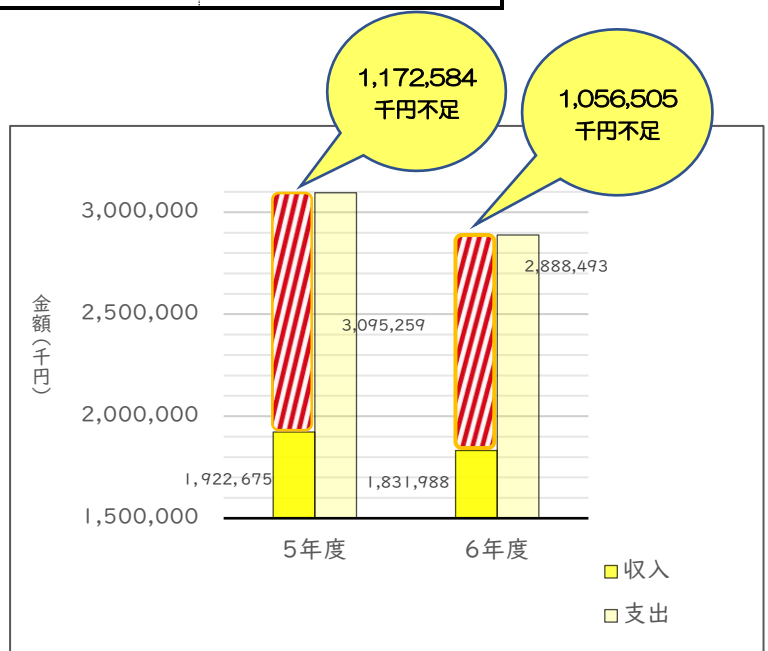
【資本的収支】

(税込 単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	増減額
収入	1,922,675	1,831,988	▲ 90,687
支出	3,095,259	2,888,493	▲ 206,766
差引不足額	1,172,584	1,056,505	▲ 116,079

収入支出の差引不足額は、前年度決算が1,172,584千円に対して、令和6年度決算は、建設改良費の減少により1,056,505千円となった。

なお、不足額については、減価償却費など企業内部に留保された資金などで補填した。



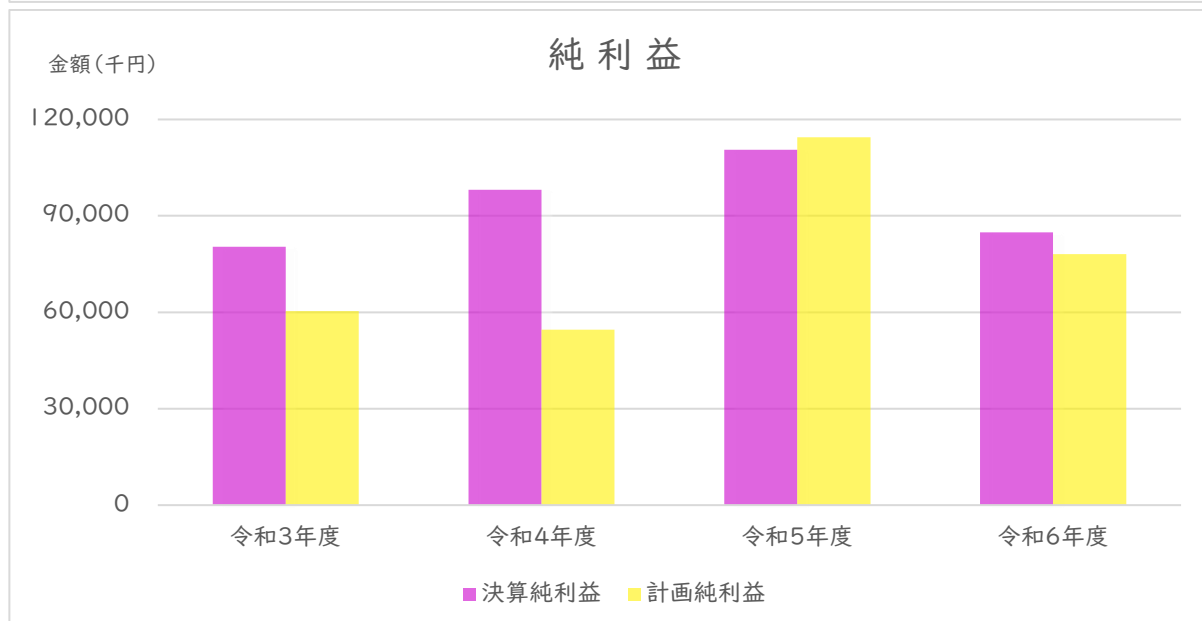
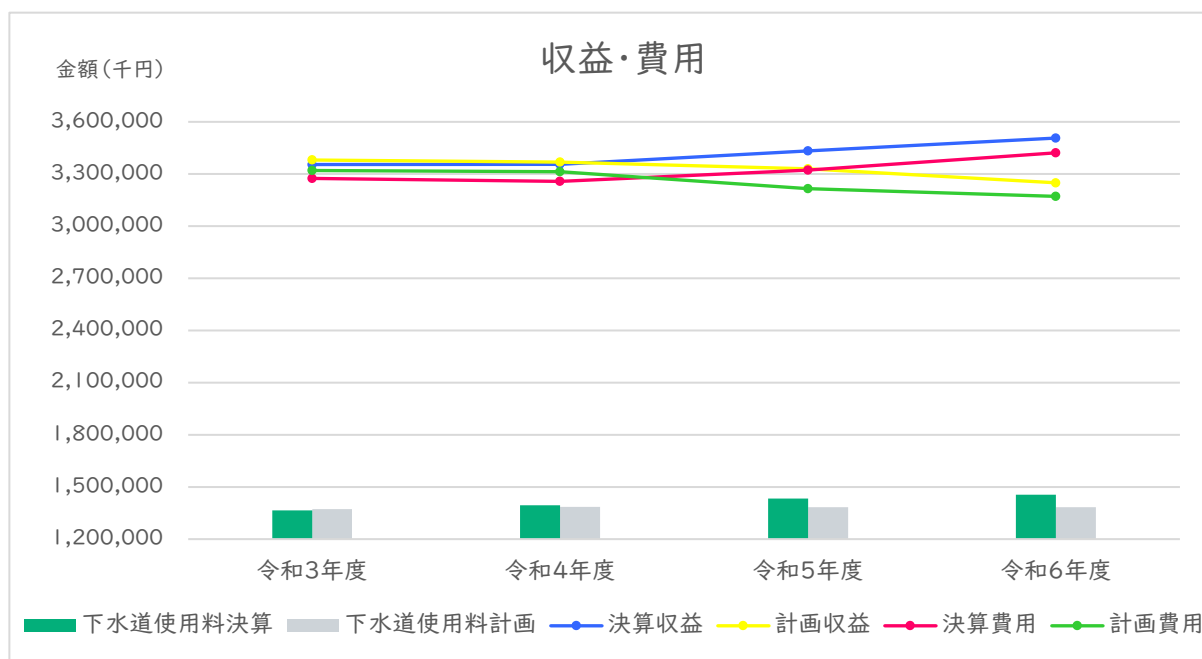
(3) 下水道事業経営計画との比較 (※下水道事業経営計画…令和4年3月策定)

【収益的収支】 (税抜 単位：千円 上段 決算値 下段 計画値)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収益	3,354,487 (3,380,483)	3,355,622 (3,368,364)	3,433,780 (3,329,564)	3,506,748 (3,249,369)
費用	3,274,089 (3,320,147)	3,257,529 (3,313,771)	3,323,196 (3,215,094)	3,421,864 (3,171,249)
純利益	80,398 (60,336)	98,093 (54,593)	110,584 (114,470)	84,884 (78,120)

収益は、5年度以降、下水道使用料や一般会計からの雨水処理に係る繰入金の増に伴い増加した。

また、費用については、計画値に比べて4年度までは下回ったものの、5年度以降は修繕費などが増えたことから上回った。

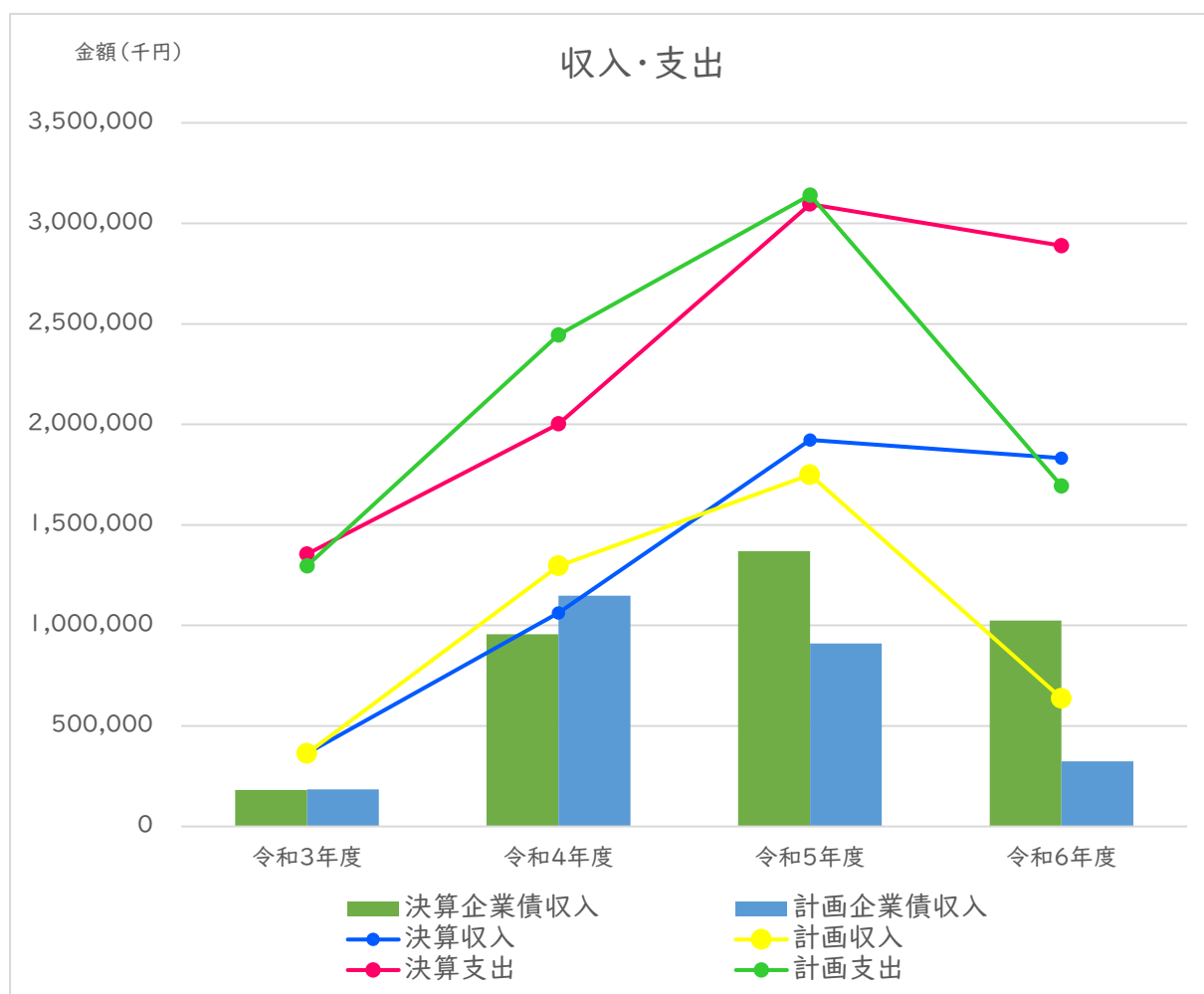


【資本的収支】

(税込 単位：千円 上段 決算値 下段 計画値)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	363,595 (363,258)	1,061,825 (1,295,422)	1,922,675 (1,749,731)	1,831,988 (637,497)
支出	1,354,886 (1,296,827)	2,002,242 (2,445,776)	3,095,259 (3,140,395)	2,888,493 (1,694,756)

次世代半導体製造工場建設に当たり、用地を一体的に利用するため既存の下水道管の敷設替えを5年度及び6年度において実施したことから、計画値に比べて収入で5年度以降企業債が上回り、支出で6年度は建設改良費が上回った。



2 処理区域内人口及び処理水量

区分	令和6年度	令和5年度	増減
処理区域内人口	94,949人	95,572人	▲623人
排水戸数	46,163戸	45,059戸	1,104戸
年間総処理水量	19,296,178 m ³	19,012,508 m ³	283,670 m ³
1日平均処理水量	52,866 m ³	51,947 m ³	919 m ³
年間有収水量	14,933,536 m ³	14,734,649 m ³	198,887 m ³

※処理区域内人口は、各年度末時点での数値を記載している。

3 用途別排水戸数(使用戸数)及び有収水量

区分	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	戸数 (戸)	有収水量 (m ³)	構成比率 (%)	戸数 (戸)	有収水量 (m ³)	構成比率 (%)	戸数 (戸)	有収水量 (m ³)	構成比率 (%)
家庭用	43,792	7,084,265	47.5	42,711	7,002,981	47.5	41,676	6,967,001	48.5
営業用	1,819	2,105,315	14.1	1,800	1,998,794	13.6	1,775	1,799,067	12.5
医療用	95	183,480	1.2	96	177,660	1.2	95	184,837	1.3
公用・公共用	256	955,331	6.4	253	966,496	6.6	253	950,462	6.6
工場用	189	4,363,151	29.2	187	4,414,346	29.9	190	4,299,650	29.9
浴場用	4	167,021	1.1	4	163,281	1.1	5	157,055	1.1
その他	8	74,973	0.5	8	11,091	0.1	3	1,087	0.1
合計	46,163	14,933,536	100.0	45,059	14,734,649	100.0	43,997	14,359,159	100.0

※戸数は各年度末、有収水量は各年度における合計の数値を記載している。

※構成比率は有収水量の比率を記載している。

4 経営分析

(1) 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	102.49	103.34	103.02	経常収益÷経常費用×100
類似団体平均値	—	107.64	107.49	

※類似団体とは、国が処理区域内人口により細分化しグループに分け、その中で本市と同じグループに属する自治体を指す。

※類似団体平均値は公共下水道事業の平均値を記載している。

※令和6年度の類似団体平均値は、令和8年1月に公表が予定されている。

・指標の解説

経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものである。この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、これが100%未満であることは経常損失が生じていることを意味する。

・本市の状況

経常収益により経常費用が賄われている。

② 累積欠損金比率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	0.00	0.00	0.00	累積欠損金÷営業収益×100
類似団体平均値	—	5.61	5.41	

・指標の解説

事業体の経営状況が健全な状態にあるかどうかを、累積欠損金の有無により把握しようとするもので、営業収益に対する累積欠損金の割合である。0%であることが求められる。

・本市の状況

累積欠損金は発生していない。

③ 流動比率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	309.63	221.03	313.80	流動資産÷流動負債×100
類似団体平均値	—	76.32	69.18	

・指標の解説

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払い能力を表している。流動費率は100%以上であることが必要であり、100%を下回っていれば不良債務が発生していることになる。

・本市の状況

短期的な債務に対する支払能力は確保されている。

④ 水洗化率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	99.95	99.93	99.93	現在水洗便所設置済人口÷現在処理区域 内人口×100
類似団体平均値	—	92.89	92.90	

・指標の解説

現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標で、100%に近いほど汚水処理が適切に行われているといえる。数値が低い場合は、水質保全の観点から問題が生じる可能性があることから対策を講じる必要がある。

・本市の状況

処理区域内においては、水洗化がほぼ完了している。

⑤ 汚水処理原価

(単位:円)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	108.19	102.91	102.16	汚水処理費÷年間有収水量
類似団体平均値	—	157.45	157.37	

・指標の解説

有収水量1㎡当たりについて、どれだけの汚水処理費用(経常費用から一般会計負担金、減価償却費及び支払利息を除いた数値)がかかっているかを表す指標である。当該指標に明確な基準はないが、経年比較や他の自治体との比較により、適正值であるか判断する必要がある。

・本市の状況

類似団体平均値と比べて低い原価である。

⑥ 経費回収率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	87.09	91.61	92.21	下水道使用料÷汚水処理費×100
類似団体平均値	—	98.46	98.06	

・指標の解説

使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能である。

・本市の状況

下水道使用料収入で汚水処理に係る費用を賄えていない状況である。

(2)老朽化の状況

① 有形固定資産減価償却率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	58.52	57.51	57.12	有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産償却対象資産帳簿原価×100
類似団体平均値	—	29.93	27.46	

・指標の解説

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。当該指標に明確な基準はないが、経年比較や他の自治体との比較により、適正值であるか判断する必要がある。

・本市の状況

有形固定資産減価償却率は年々上昇しており、施設は老朽化傾向にある。管や施設の劣化状況を見極めた上で、更新の必要性を判断して、整備を行っていく。

② 管渠老朽化率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	7.25	6.38	4.34	法定耐用年数を経過した管渠延長 ÷下水道管敷設延長×100
類似団体平均値	—	2.74	2.08	

・指標の解説

法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表す指標で、管渠の老朽化度合を示している。当該指標に明確な基準はないが、経年比較や他の自治体との比較により、適正值であるか判断する必要がある。

・本市の状況

法定耐用年数を超えた管渠の延長は増加傾向にある。管や施設の劣化状況を見極めた上で、更新の必要性を判断して、整備を行っていく。

③ 管渠改善率

(単位:%)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	算出式
本市の値	0.50	0.16	0.15	当該年度に更新した管渠延長 ÷下水道管敷設延長×100
類似団体平均値	—	0.06	0.13	

・指標の解説

当該年度に更新した管渠延長の割合を表す指標で、管渠の更新ペースや状況を把握できる指標である。耐震性や更新見直しなどを踏まえ、数値を適切にすることが必要である。

・本市の状況

管渠の延長については、管や施設の劣化状況を見極めた上で、更新の必要性を判断して、整備を行っていく

千歳市公営企業会計決算概要用語解説

【水道事業会計】

◇ 資料2ページ

収益的収支	当該年度の経営活動で発生する収入及び支出
資本的収支	将来の経営活動のために行う施設の建設や改良等の事業及び現在使用している施設に係る企業債の償還金等の支出とその財源となる収入

◇ 資料3ページ

純利益	収益的収支において、収益が費用を上回る金額
減価償却費	償却資産（建物、機械等）の価値の減少を、その資産が使用できる期間（耐用年数期間）の各年度に均等に割り当てて計上する費用

◇ 資料6ページ

給水人口	給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人の数
給水戸数	給水区域内における、水道メーター設置件数
年間総配水量	配水池等から配水管に送り出された水量
石東企業団からの受水量	石狩東部広域水道企業団から購入している水量。本市は、漁川浄水場と千歳川浄水場の2カ所から、水道水が供給されている。
1日平均配水量	年間総配水量を年間で割り返した一日当たりの配水量
年間有収水量	年間総配水量のうち、漏水となった水量などを除いた料金収入の対象となる水量
営業用	スーパー等店舗、事務所、ホテル、空港施設などで使用される水道水
公用・公共用	市内の自衛隊3部隊、市役所、学校、公園などで使用される水道水

【下水道事業会計】

※水道事業会計と重複する用語は省略しています。

◇ 資料16ページ

処理区域内人口	下水道処理区域内における居住人口
排水戸数	処理区域内における下水道使用料の対象となった件数
年間総処理水量	下水処理場で処理した水量
1日平均処理水量	年間総処理水量を年間で割り返した一日当たりの処理水量
年間有収水量	年間総処理水量のうち、使用料収入の対象となった水量